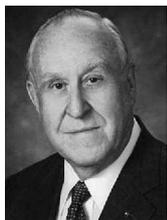




2016年11月のロータリーレートは1ドル=102円



R I 会長テーマ：
 「人類に奉仕するロータリー」 Rotary Serving Humanity
 2016-17年度国際ロータリー会長 ジョンF. ジャーム
 チャタヌーガ・ロータリークラブ（米国テネシー州）



「語り合おう ロータリー」
 R I 第 2610 地区2016-17年度年度ガバナー
 岡部一輝（かずき）（南砺 RC）



例会便り

第 855 回

ホテル日航金沢 5 F

12.1（木）19:00～

例会出席率 27/46 58.69%

布施美枝子 SAA 10 月の平均出席率 63.89 %

点 鐘

1. 四つのテスト
2. **若狭豊会長挨拶** 今日もインフルエンザの発症者3名、A型でした。先週東京でインフルエンザ研究班の会合に参加して来ました。30名程が全国から集まって去年の総括を行いました。今年はA



香港型とよばれるもので老人にきついと言われてこれから流行期に入りますし、鳥インフルエンザも全国各地で殺処分が行われています。

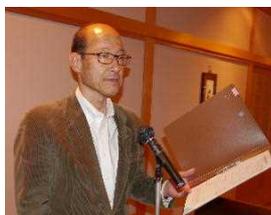
いずれにしても、罹らないにこしたことはないです。また先日は東山へ行きましたが、人混みがすごくて京都の観光地を思わせるほどの賑わいでした。

3. ゲスト・ビジターのご紹介 なし
4. **皆出席顕彰** 1カ年 布施 美枝子 会員



《 食 事 》

5. 幹事報告・委員会報告



〔幹事報告〕武藤清秀幹事

例会終了後、理事役員会を開催いたします。会場は1F奥「鳳凰の間」です。
 ◎ 来週はホテル日航3Fにおいて年忘れ例会です。当日の会場準備や運営について、クラブ管理運営委員会、親睦委員をはじめ皆様のご協力をよろしくお願いたします。
 ◎ 今年は12/22 が最終例会となり、服部あつし様の卓話が予定されています。

〔委員会報告〕



江守道子会員：書損じハガキの回収につきまして、地区より今年度は実施しない旨の連絡がありました。この事業に関して問題点が浮かび上がっており、抜本的な見直しを検討しているとのこと。もし書き損じハガキがあつて持ってきて良いよという方には、拒否しませんので事務局に持って来ていただければと思います。よろしくお願いたします。



藤間勘菊会員：昨日パイロットクラブのチャリティがありまして、クラブの後援をいただき、たくさんのチケット購入もいただき有難うございました。お陰さまで450人近いお客様に

来ていただきました。実行委員の金会員に代わり御礼申し上げます。

6. **ニコニコBOX** ¥22,000- 本年度¥281,000- 残高¥6,318,206-

若狭豊会長：皆さま、インフルエンザワクチンもうお済でしょうか。本日の卓話、村上さんよろしくお願ひします。

武藤清秀幹事：皆さん今晚は。村上さん卓話楽しみにしています。

石丸幹夫会員：卓話は村上様ですね。楽しみです。

岩倉舟伊智会員：浦田さん、小浦さん ようこそ我がクラブへ。歓迎いたします。

浦田哲郎会員：先週から新入会宜しくお願ひします。

大路孝之会員：村上さん、卓話よろしくお願ひします。

魏賢任会員：皆さま、こんばんは。ようこそ、招龍亭にお越し下さいました。村上会員のご卓話を心より楽しみにしています。

7. **講話の時間**



紹介者 魏賢任会員：村上さんは私と同じ中国出身で、村上さんが10数年前に移住して知り合いました。中国出身者の他の方よりも親近感を感じたのは出身地が隣どうしということもありますが、村上さんの普段の行いが良かったということもあると思います。詳しいことはこれから本人からじっくり聞きたいと思っています。よろしくお願ひします。

講話 『 生きる力と私 』

村上 咏実子 会員



入会早々に卓話するのは恥ずかしいのですが、ありのままの自分を皆様に紹介いたします。野々市で家族と住んでいまして、旦那様約1名、姑のばあちゃん約1.5名、可愛い娘が約1名います。1972年に上海の離れた町で生まれました。小さい時は貧乏で、今では中国は発展しましたが、40数年前はすごい貧乏でした。私が小学校へ上がる時に、母親の実家のある上海のばあちゃんに預けられました。今の中国のイメージでは子供を田舎において親は都会に出稼ぎに行くという感じだと思いますが、私は逆に親が田舎にいて、子供に上海で教育を受けて欲しいという父親の思いでした。父は小さいころ、長女である私にすごい期待をしていました。上海では上海語をしゃべるのですが、私は田舎出身で上海語をしゃべれずじめられて、子供ながら一生懸命上海語を覚えたことが、今思えば日本でも日本語学校に通わずに人との会話で覚えたという訓練に繋がったと思っています。今では上海も裕福になりましたが、当時はみんなが貧乏で、2坪とか3坪のリビングだったと思います。ばあちゃんの家にはじいちゃんとおじちゃんが3人いて、食事は最初にじいちゃんとおじちゃんの4人が食べた後に私とばあちゃんが食べるという感じでした。父が私に期待しているから勉強は深夜までして、好きとかか習慣になっていました。テストの前はばあちゃんがゆで卵を作ってくれて栄養をつけてくれました。自分の成績が良かったことを父親に報告することが嬉しくて、父を喜ばせるためにがんばらんなんというのがありました。当時は上海から貨物車で実家へ帰っていて、朝の10時に乗って着くのは夜中の2時3時ということもありました。今思えばこんな厳しい環境で育った自分だからどこへ行ってもこわくないかな、これが私の生きる力というのがあります。小さい時の苦難は人生の宝物やなあと思います。今は裕福になって、なかなか味わえない、体験できない時代で自分はそういう環境で育ったことは運が良く幸せだと思います。高2ぐらいまで上海で過ごしましたが、父親がやっぱり傍におきたいということで実家に無理やり戻されました。戻ったら上海と田舎は環境も違うし、同級生と話も合わないし、一人でまた上海に戻りました。当時は今みたいに電話で親に相談したりもできないし、手紙を書くけれども田舎まで届くのは時間がかかるので、全て中学や高校の進学など自分一人で決めてきました。結婚も勝手に自分で決めて大失敗となりました。彼も色々あ



って大変な時期だったのですが、賭博をしたり、暴力をふるう旦那さんと娘に手をあげた時に、この人と一緒だと娘にとって良くないと思って離婚を決めました。その時に友人から日本料理の店で働く誘いを受けて、上海で有名な居酒屋で働くことになりました。今上海には何万人もの日本人が住んでいますが、当時は約6千人しかいない頃でした。日本語の本を読んだり、日本のお客さんと話したりして日常会話から勉強していきました。今の旦那さんとはお見合いで知りあって日本に来ることになりました。20万の日本円と友達から絶対に手から離すなといわれたパスポートを持って、もし何かあればすぐ逃げようと思って来ました。私は父を尊敬していて、父みたいに頼りがいがある人が良かったのですが、旦那さんは頼りがいはないけれどとても優しいです。人を変えることはできないから自分を変えることが夫婦が仲良く暮らしていく秘訣だと思います。求めてしまうとだめだわあとなるけど、この人はこんな人やと思えば納得もするんです。日本に来てすぐは宇宙に来たくらいの感覚で友達もいなくてポツンとしていました。今ならスマホやパソコンで色々調べることもできますが、当時は情報もなかった。日本語も少しはできると思って来たけれど、いざ来てみたら全然わからなくて、姑ばあちゃんとの会話の中で聞いたことを手帳にメモして覚えていきました。旦那さんのいところに保険の仕事をしている人がいて、いろいろな所に誘ってもらったりしたのがきっかけで保険の仕事を始めました。お客様のところへ行くのもやっとなりで、一方通行に迷い込んで怒られたりもしました。一年くらいした時の給料が手取りで3万円でした。保険の仕事は難しいところもありますが、いろいろな人の助けもあって14年経った今ではお客さんが700人になり、会社の中でも上の立場になってきて、小さい時の我慢とか苦勞が基礎にあって乗り越えられるという自信がありました。中国と日本の両方をみてるので、自分には日本が合っていると感じます。中国ではよく、娘の時は本当の幸せじゃなく、結婚後の幸せが本当の幸せと言います。結婚してからのの方が人生も長いので、自分は村上家に入って優しい旦那さんと姑ばあちゃんに出会って本当に幸せと思っています。

8. 質疑応答

9. 謝辞

点 鐘

バスターガバナーからの手紙 286回 2016.12.15 炭谷 亮一

良書探訪「科学の発見」 著者 スティーブン・ワインバーグ

本書の帯封に“本書は不遜な歴史書だ”と快刀乱麻の科学史で欧米で大論争!!更にギリシャの「科学」はポエムにすぎない。物理学こそ科学のさきがけであり、科学の中の科学である。化学・生物学などは二等の科学だ。数学は科学ではない・・・との激烈なキャッチコピーに思わず買ってしまった。

内容は1979年にノーベル物理学賞を受賞した著者が、テキサス大学の教養課程の学部生にむけて行っていた、科学史の講義のノートをもとに、綴られた書であり、欧米では科学者、歴史学者、哲学者をも巻きこんだ大論争となった。

ギリシャのプラトンに始まる物理学者の主張から17世紀の偉大な物理学者アイザック・ニュートンまで超有名科学者達を現代の「科学」の基準で裁くという超ユニークで超危険な領域に踏み込んだ大胆な主張に私自身思わず“すげえなあ”との想いを持つと同時に今日の日本でこんなにも重厚で深遠な科学史の講義を出来る大学教授は存在しないとの強い想いを感じずにはいられなかった。日本の科学はアメリカの科学に遠く及ばないんだと実感させられた。残念!!

著者は第三章「アリストテレスは愚か者か?」とのタイトルで歴代の偉大な科学者の中で、最も批判的だったアリストテレスに関する記述と、第十四章で「革命者ニュートン」のタイトルで賞賛したニュートンに関する記述の一端を紹介することとする。

前者アリストテレスに関して著者はアリストテレスの物理学とは、自然はまず目的があり、その目的のために物理法則があると言うものだった、物が落下するのは、その物質にとって自然な場所がコスモスの中心だからだと考えた。観察と実証なき物理学と論断している。更に著者は科学の進歩とは、単なる流行の変化ではなく客観的なものである。運動について、ニュートンの方がアリスト

テレスよりもよく理解しているという事実を、疑うことが出来るだろうか。どんな運動が「自然な」運動かを問題にしたり、あれこれ物理現象の「目的」を論じるのは、いつの時代にせよ無意味なことである。「アリストテレスは愚か者だった」と結論づけることがアンフェアだと考えている、しかし心の中ではアリストテレスのこだわりが科学の進展を2000年にわたり妨げたと考えている様である。著者は最後にアリストテレスを現在の基準で評価しようとする目的はアリストテレスの様に極めて理性的な人物にとってさえ、自然をどの様に研究すべきかを知ることがいかに困難だったかを理解するためである。現代科学の実践を見たことがない人にとってその方法は何一つとして明らかではないのであるとアリストテレスを少し擁護している。

さて後者のニュートンについて著者はニュートンは過去の自然哲学と現代科学の境界を越えた。その偉大な成功で物理学は天文学・数学と統合され、ニュートン理論が科学の「標準モデル」に、世界を説明する喜びが人類を駆り立て、ここに科学革命が成立したと大賛辞を送っている。

ニュートンのあの有名な著書「プリンキピア」は運動及び万有引力の法則を確立したが、ニュートンの功績はそれだけではない、地理学論の一つの模範を未来に示したことである。ニュートンも充分承知しており、重力が唯一の物理的力というわけではないが、当時分かっていた範囲内では彼の理論は「宇宙のあらゆる粒子は他のあらゆる粒子を、その質量の積に比例し、互いの距離の二乗に反比例する力で引きつける」と言う普遍性を持った理論だった。「プリンキピア」は惑星の運行に関するケプラーの三法則を導き出しただけでなく、春分点の歳差、近日点の移動、彗星の軌道、惑星の月運行、潮の満ち引き、リンゴの落下等をも説明していた。ニュートンの業績に比べれば、ニュートン以前の物理学理論はすべて狭い範囲の成功にしか過ぎないとニュートンを激賞している。

最後に人間はヒョウの敏捷さも、熊の腕力もない、ところが人類は進化の過程で脳を巨大化させ知力で勝負出来る様になった、そして「新羅万象を知りたい」と言う好奇心と願望を呼び起こし、知識（知性）を共有・拡張する文化スタイルを継承して来た。

本書「科学の発見」はその知識（知性）の精華といえる。いや読みごたえのある書といえる。本年度最高の一般向け科学関連書と言える。

著者 スティーブン・ワインバーグ

「科学の発見」 2016年5月10日 第1刷発行 文芸春秋社 定価（1950円+税）

12月の理事役員会

規定審議会の情報 例会 出席 会費 入会金など大分拡大解釈されたようです。

IM開催 2017.3. 26（日）ホテル日航



会員消息



杵屋喜佐以満（木村陽子）会員が 伝統文化ポーラ賞地域賞を受賞され、12月11日（日）にニューグランドホテルにて祝賀会がありました。山野金沢市長さんも出席され、盛大でした。



久しぶりの青空に映える柿



山茶花（さざんか） 12.3

クラブ例会予定

- 12/8 村上咏実子会員
- 12/15 年忘れ例会
- 12/22 服部敦史氏
- 1/11（水）8 RC 合同新年例会
ホテル日航 18：30
- 1/19 末松 智氏
- 1/26 石田寛人氏 元チェコスロバキア大使

2016～17 役員・理事・委員会

(役員) 会長：若狭豊 エレクト：上杉輝子 副会長：藤間勘菊 宮永満祐美 幹事：武藤清秀 副幹事：大路孝之
会計：西村邦雄 SAA会場監督：布施美枝子 直前会長：魏賢任

(理事) クラブ管理運営委員長 東海林也令子 奉仕プロジェクト委員長 川きみよ
会員組織委員長 金沂秀 広報委員長 矢来正和

常任理事：石丸幹夫 吉田昭生 木場紀子

理事会オブザーバー・アドバイザー：パストガバナー 炭谷亮一 地区パスト幹事 岩倉舟伊智

(委員会)

クラブ管理運営委員長：東海林也令子 副：井口千夏

親睦：◎井上正雄 大沼俊昭 勝山達郎 北山吉明 相良光貞 竹田敬一郎 道端勝太 村上咏実子 森眞一郎
衣川昭浩 山崎正美

例会：(プログラム/出席) ◎井口千夏 上田喜之 辰巳クミ 水野陽子

SAA：◎布施美枝子 井上正雄 上田喜之

ニコニコ：◎表 靖子 井上正雄 矢来正和

友好・クラブ細則：細則 CLP 検討 ◎江守 巧 炭谷亮一 後出博敏

富山西 RC との交流◎岩倉舟伊智 木場紀子 谷伊津子 野城 勲

金沢北 RC との交流 ◎藤間勘菊 杵屋喜三以満 二木秀樹

その他友好クラブ ◎石丸幹夫 大路孝之 魏 賢任 藤間勘菊 宮永満祐美 村田祐一

直前委員長：東海林也令子

奉仕プロジェクト委員長：川きみよ 副：大路孝之

職業：◎村田祐一 永原源八郎 二木秀樹

社会 (新世代・青少年を含む)：◎永原源八郎 辰巳クミ 谷伊津子 野村礼子 水野陽子

国際：

世界社会奉仕 (R財団) ラオス支援 ◎炭谷亮一 岩倉舟伊智 大路孝之 勝山達郎 金 沂秀 西村邦雄

描き損じハガキ ◎江守道子 大沼俊昭 相良光貞 竹田敬一郎 野城勲 後出博敏 山崎正美

米山奨学会 ◎藤間勘菊 上杉輝子 大路孝之 土田初子

青少年奉仕 国際青少年交換 (日韓など) ◎大路孝之 上杉輝子 江守 巧 高田重男 宮永満祐美 吉田昭生

直前委員長：水野 陽子

会員組織委員長：金 沂秀 副：魏 賢任

会員増強：◎魏 賢任 井口千夏 北山吉明 高田重男

修練 (オリエンテーション) ◎北山吉明 杵屋喜三以満 木場紀子 吉田昭生

直前委員長 金沂秀

広報委員会委員長：矢来正和 副：表 靖子

広報：◎上杉輝子 西村邦雄 矢来正和

ロータリー情報：◎表 靖子 土田初子 布施美枝子

会報・ホームページ：◎石丸幹夫 上田喜之 江守道子 野村礼子

直前委員長 藤間勘菊

長期姉妹クラブ担当 韓国南光州：金 石丸 岩倉 江守巧 東京世田谷中央：炭谷 岩倉 石丸 藤間

京都北東：炭谷 杵屋 水野 高崎：石丸 村田 金沂秀 藤間 宮永

(地区委員) 【会員拡大増強委員会】 委員 魏賢任 【広報委員会】 委員 藤間勘菊 【ロータリー財団委員会】

カウンセラー 炭谷亮一 【ロータリー米山寄付推進担当】 委員 大路孝之 【危機管理委員会】 医師 石丸幹夫

例会会場 ホテル日航金沢 5F 〒 920-0853 金沢市本町 2-15-1 T076-234-11111 例会日時 木曜日 19：00

事務室 ライブ1ビル 2F 〒 920-0852 金沢市此花町 3-2 T076-262-2211 F076-262-2241

E-mail khrc@quartz.ocn.ne.jp ホームページ URL http://100rc.jp/

事務局執務時間 月火水金 9：00～15：00 休憩時間 12：00～13：00 木 15:00～20:00 休日 (土日祝日)

事務局員 西村有里 幹事 武藤清秀